



## 学習に向かうルーティーンづくりの上に

校長 竹花 正徳

新年度が始まり、1月が経ちました。各学年とも進級した喜びとやる気に満ちた子供たちの姿がありました。21日に対面式を行い、その後、1年生は黄色い帽子をかぶり2年生から上のみなと同じように休み時間に校庭に出て活動をしています。そして、24日の一年生を迎える会では2年生から6年生の歓迎であたたかく迎えられ、入学してから数週間の1年生もかわいらしい出し物を披露しました。25日には、昨年度までお世話になっていた先生方を迎え、離任式を行い、代表児童がお礼の言葉を述べ花束を渡しました。

さて、梅島第二小学校では、基礎基本の定着や学んだことを必要なときに使える力を身に付けることに取り組んでいます。

毎朝、梅二の子供たちの元気な「おはようございます」の声、そして、今年度も昇降口を入ると靴箱に踵が揃っている靴が並んでいます。とても気持ちのよいものです。学んだことを必要なときに使っていることの表れの一つです。学校での学びの中心は何と言っても授業です。毎日1時間目の授業から集中して学んでいけるよう、毎年、年度はじめに学びに向かうためのルーティーンづくりに全校挙げて取り組んでいます。ご存じの方も多いとは思いますが、「梅二小学習スタンダード」「梅二小生活スタンダード」を基に学習指導と生活指導の両輪で落ち着いたあたたかな学校生活、学びに向かう梅二を創ってきています。各ご家庭の皆様のご協力で成果をあげています。これからもよろしくお願いします。

### 梅二学習スタンダード

- ①授業が始まる時こくまでに、自分の席に座ります。
- ②休み時間のうちに、次の授業の準備をします。  
教室移動は、休み時間のうちにします。
- ③ノートは、下じきをしいて書きます。
- ④名前を呼ばれたら、「はい」と返事してから話します。
- ⑤その場に合った言葉づかいで話します

ところで、読書離れ、本離れと言われていますが、このところ、通勤時の車内で本を読んでいる人を多く見かけるようになりました。梅二の子供たちも朝読書、読み聞かせなどの取組が生かされ、本に親しむ児童が増えてきています。子供の読書活動を推進することを目的に4月23日は「子供読書の日」になっています。学校の図書室として記憶している方もいらっしゃると思いますが、正式には「学校図書館」と言います。近年学校には司書教諭(兼務しています)が置かれるようになり、今年度は週4日の図書館支援員も配置されています。2階にある学校図書館に行くと、本を手に取りやすいように類別に配置され、新しく入った本の紹介のコーナーや別置図書など、本に親しめるような工夫がされています。年2回の読書旬間や朝の読み聞かせ、調べ学習に適した図書の紹介など梅二の子供たちが本に積極的に触れることができるよう働きかけています。学校図書館には「読書センター」「学習センター」「情報センター」の3つの機能があります。読活動を支援し、読書意欲を高めるだけでなく、図書館支援員を活用して、授業や探究学習で必要な資料や情報を活用したり、学習を深めることや学校図書館から情報を発信して各教科等の学習につなげたり、これら3つの機能を活用し、読み解く力、国語力の向上につなげ、子供たちの学びの力・必要なときに使える力を伸ばしていきたいと考えています。

これからも、よろしくお願いします。